

見えればできる！！

カメラ機能を利用した清潔に関する指導

～状態と動作の見える化から「わかる」授業作り～



自己紹介

樋井一宏（ひのい かずひろ）

教員歴：9年目

免許：中・高国語、特別支援学校

趣味：アウトドア



#特別支援教育が特別じゃなくなる日を

実践の概要

対象 : 知的障がい支援学校 中学部2年生 最重度生徒7名 (教員4名)

授業 : 「こころとからだ」 (自立活動・道徳)

時間数 : 6コマ (1コマ 50分)

手洗いに関する指導 3時間

背中洗いに関する指導 3時間

使用機器 : TVモニター、iPad、Apple TV



ねらい

課題：手洗い・背中洗い不十分である。



原因：A、目に見えない抽象的な概念の理解が難しい
B、ボディイメージが弱い（特に身体背部）
C、他人の活動に注意を向けにくい

視覚情報からの理解が得意



ICT機器を活用して 「見える化」 しよう！！



手洗いの指導

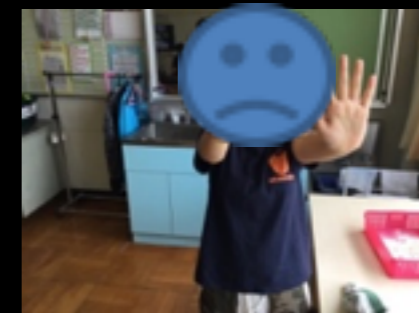
①手洗いの歌で動作の練習

②手に小麦粉をつける *写真を撮る

③手洗いをを行う 写真を撮る

④手洗い前と手洗い後の写真を見比べる

⑤活動の様子を写真と動画でふりかえる



*②～③ 1人ずつ行い、他の生徒はTVモニターで見る

「汚れた状態」と手洗い後の「きれいな状態」を写真で記録し、
見比べることで状態の変化を見える化した

背中を洗う指導

①絵本「おふるだいすき」の読み聞かせ
ストーリーに沿って体を洗う動作の練習

②タオルで体を洗う動作の確認

③背中を洗う動作の時は背後からiPadで撮影し
TVモニターに映す

④活動の様子を写真と動画でふりかえる



直接見ることのできない背中の様子を
「見える化」

実践の成果

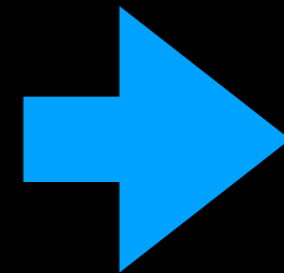
「手洗い」

- A、目に見えない抽象的な概念の理解が難しい
→小麦粉で汚れを見える化



「背中洗い」

- B、ボディイメージが弱い（特に身体背部）
→カメラで中継することで見える化



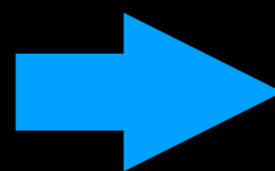
- C、他人の活動に注意を向けにくい
→TVモニターを見ることでパターン化



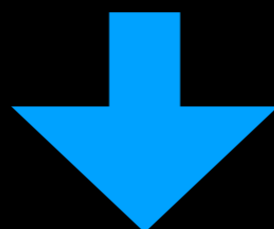
まとめ

苦手なこと

- A、目に見えない抽象的な概念の理解が難しい
- B、ボディイメージが弱い（特に身体背部）
- C、他人の活動に注意を向けにくい



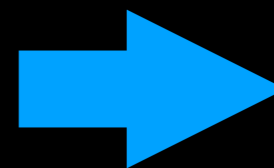
手洗い・背中洗い・学び合いが
難しい



得意なこと

視覚情報での理解が得意

+ ICT機器の活用



できることが増える



ADL面の向上+自信

わかるからできる→自己肯定感の向上

特別支援教育が特別じゃなくなる日を

ご静聴

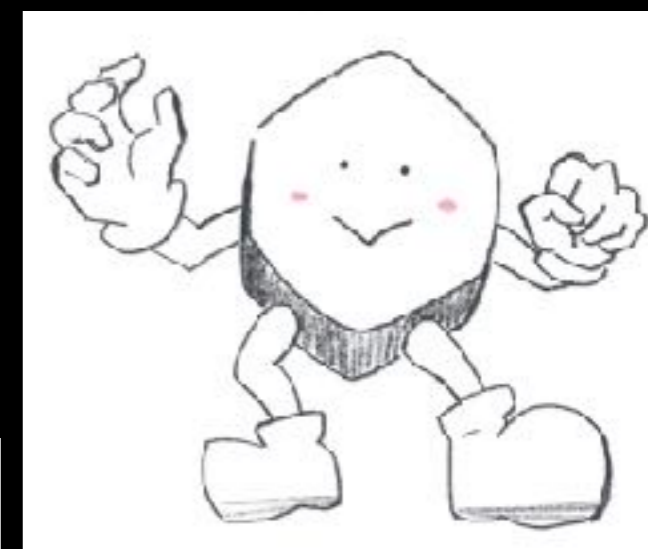
ありがとうございました



おまけ

僕が作った特別支援教育でつけて欲しいカー一覧
「教育実践マトリクス」

<https://www2.osaka-c.ed.jp/nishiura-s/H27マトリクス改訂版.pdf>



連絡先・・・Facebook

ユーザーネーム：樋井 一宏（ひのい かずひろ）



特別支援教育が特別じゃなくなる日を